

TAKE OFF! いんくる通信 No.8

2017.09.01

あなたのはたらきたいをかたちに 社会福祉法人武蔵野 ジョブアシストいんくる

◎ベテランの憂鬱 職場定着を考える

もう数年前になりますが、企業開拓である会社を訪問した時に「当社は、同じ仕事ができれば障害があるからと言って差別はしない」と胸を張って言われたことがありました。

今から思えば素朴な認識だと思いますが、ひょっとしたら今でも一部で妥当な見解として語られているかもしれません。

こうした一見まっとうに見える平等観は、実はその差別を助長することにほかなりません。本来であれば、障害がある人にも遍く企業の人材としてその方に合わせた指導や育成が図られることが本来の差別解消であると思います。

しかし、雇用した障害のある方を自社の戦力になる人材として大切に育成していくことは多くの困難があり、どの企業でも苦勞していることだと思います。しっかりとした仕組みとノウハウをお持ちの企業はそう多くないように思います。

障害者雇用が盛んになり始めた 10 年前に雇用された方の中には、文字通り十年一日の如く同じ業務を地道にこなしてきた結果、毎年のように後輩が入ってくる中で先輩として、徐々に自信とやりがいを使い、不適切な言動や行動を起こし、離職に至るケースも見られます。いくつかの企業で、そうした新人に押し出されるような形で離職していく障害者が生み出されています。

就職支援においては、かねてから、早期離職の問題が指摘されてきましたが、こうしたベテラン離職の発生は別の問題をはらんでいるように思います。

早期離職防止の観点では、マッチングの重要性が語られてきましたが、中長期にわたる離職防止については、キャリアコンサルティングとともに、企業の人材育成、雇用管理の進化を促す働きかけが必要になってきています。難しいことですが、支援機関が企業とのパートナーシップを意識的に作っていくことが大切になります。

また、ベテラン離職の特徴としては、社会生活面の課題が離職の原因となることがあります。これは企業で働くという高いモチベーションや家族の支援の影に隠れて顕在化してこなかった課題が、本人のモチベーションの低下や、親の高齢化による家族の支援力の低下により、相対的に顕在化してきた結果といえます。こうした課題の解消には従来からの就労支援の枠組みでに加えてソーシャルワークの視点を持つことが必要になってきます。平成 30 年度から制度として動き出すであろう「定着支援事業」もこのような背景を視野に置きつつ取り組んでいく必要があります。(鈴木 誠)

◎延命寺夏祭り

武蔵野市八幡町にある延命寺で8月3日、4日と2日間にわたり薬師縁日が行われました。商店街や振興会の方々など地域で縁日を盛り上げます。昨年と同様、いんくるのご利用者にボランティア参加を募り「和太鼓千川組」のブースに仲間入りして出店のお手伝いをしました。

参加者には早速、駄菓子売りのコーナーを依頼され、接客と販売を行いました。お店をのぞきにくる人に商品や値段の説明をして丁寧に対応します。子供たちが店先を行ったり来たりして、小さな常連客でいっぱいです。行き交う人に少しでも足を止めてもらおうと大きな声で呼び込みをする姿は活き活きとしていました。祭りのにぎわいや雰囲気の後押しもあり「いらっしゃい、いらっしゃい」と夏の暑さもすっかり気にしないほどでした。

いんくるでは就職を目指す為に日々準備をしていますが、今回は普段のプログラムから離れ、街に出てイベントに参加することで地域と関わる機会を持ちました。住み慣れた場所で暮らしていても、地域と関わりを持つことは容易ではありません。大変なことや難しいことがあるのかもしれないと、あと一歩を止めてしまうことも少なくないと思います。けれども実際に一歩踏み出してみると、地域の人たちは「無理なく楽しんで参加してほしい」と歓迎してくれます。

いんくるの参加者にもその思いが伝わったのか一緒に盛り上げていく様子や普段見られない熱を私は感じました。これからも地域に出かけ、つながりを大切に参加の機会を持ちたいと思います。(小池 陽子)



夏祭りで賑わう延命寺境内

◎Employability Improvement Training

株式会社スタートライン主催の E I T (Employability Improvement Training) 研修に、2名のいんくるご利用者が参加しました。この研修では、様々な模擬事務実習やセラピーエクササイズの実践により、体調管理の方法を学びながら、自身の得意なこと・苦手なことを把握し、その結果として「自己理解・良質の自信」を獲得することを目指しています。研修に参加された方の感想をご紹介します。(吉田 友一)

E I T 研修に参加して 研修参加者より

この度、EIT研修(9営業日の外部研修)に参加してきました。いんくる利用者の皆様にとって、少しでも参考になるよう研修で学んだことの一部をお話したいと思います。

私は研修直前まで、いんくると異なる環境での研修に不安な気持ちで一杯でした。そして研修中には考え過ぎて辛い夜もありました。しかし振り返れば、9日間は瞬く間に過ぎ去っていたのです。

それは、私にとってはACT研修(心理教育)との出会いが極めて大きかったと思います。この出会いによって、研修最大の素晴らしい収穫が得られました。私は、就職活動にあたって自分に自信が持てず、また病気の再発を恐れるあまりに、自分を必要以上に縛り付けていたことに気づきました。でも、研修のなかで、自分が今もこれからも、大事にしていきたい大切なものを見つけることが出来ました。(何かは秘密です)そこに至るまでには、面談の希望にいつも親身に応えてくださり、かつ都度ヒントをもくださった研修関係者の皆様のお力添えがとても大きいのですが、私にも出来たことがあります。それは「勇気を出して自分の考えや感情までも、相談できたこと」です。私も相談が苦手でしたが、勇気を持って相談出来れば、得る事は一人で悩むよりもずっと大きいと気づきました。その気づきが私にとってもう一つの成果です。皆様も、研修期間中に戸惑う事や悩むこともあると思います。そんな時には、研修先の皆様に積極的に相談して欲しいと思います。私は、相談できる力は研修中以外にも「私たちが長く働くための一つの鍵になる」と思います。

もう一つ大事なことがありますのでお伝えしたいと思います。休憩や、お昼休みです。各々自由に過ごしますが、昼食や夏祭りの話に花が咲く、そのそばではマイペースに過ごしている方もいる。そんななごやかな時間も懐かしく感じています。ご安心くださいね。

最後に、私は「EIT研修に参加して本当に良かった。素晴らしい収穫を得ることができた」と自信を持って言えます。これから研修に参加される皆様も、外部研修というチャンスを活かし、人生の糧としていただけたらと願っています。

◎平成29年度 第1回 就職者の会

いんくるでは年3回程度、いんくるを利用して企業へ就職された皆さんにお声を掛けし、「就職者の会」を開催しています。この会は、近況を報告しながら歓談し、就職者同士の

つながりを深めると共に、お互いの大変さや頑張りを共有して、明日への活力に繋げる事を目指しています。

今回は現利用者にも参加を呼びかけ、就職者から自身がいんくる利用中どのように準備を進めていったか、どんなことに悩み苦労したか、身に着けておいて良かったことなど、就職に向けてのアドバイスや、実際に就職をした後の時間の使い方、体調管理の必要性などを話していただきました。



皆の前で話をする就職者の方たちは堂々とし、利用中よりひとまわりもふたまわりも大きくなったようで非常に頼もしく見えました。

一方、いんくるを利用中の皆様にとっても、自分達が今通っているこの事業所から実際に社会に出て働いている就職者の言葉は、非常に説得力があり、参考になるものだったのではないのでしょうか。多くの方の参加後のレポートに、またこのような機会をつくってもらいたいとの意見がありました。

今回参加できなかった方も、次回は是非参加し、今後の活動をより実り多いものにして頂けると良いと考えております。

(猪狩 真紀子)

◎平成29年度 就職者の状況

今年度は8月30日現在で6名が企業に就職しました。

Aさん 医療法人沖縄徳洲会 武蔵野徳洲会病院 様

Bさん 株式会社ベネッセビジネスメイト 様

Cさん オリックス生命株式会社 様

Dさん 株式会社NEW ART 様

Eさん ジョッゴ株式会社 様

Fさん 特定医療法人愛育会 久米川病院 様

※平成25年6月のいんくる開設以来、36名の方が企業に就職されています。

Take Off! いんくる通信 No.8 2017.09.01

社会福祉法人武蔵野 ジョブアシストいんくる

〒180-0006 東京都武蔵野市中町 1-28-10

電話 0422-50-1701 Fax0422-50-1702

e-mail incl@fuku-musashino.or.jp

URL <http://fuku-musashino.or.jp/syougai/syougai-07.html>